

A modern, bright hospital lobby with large windows, potted plants, and a reception desk. The text is overlaid on a semi-transparent white rectangle.

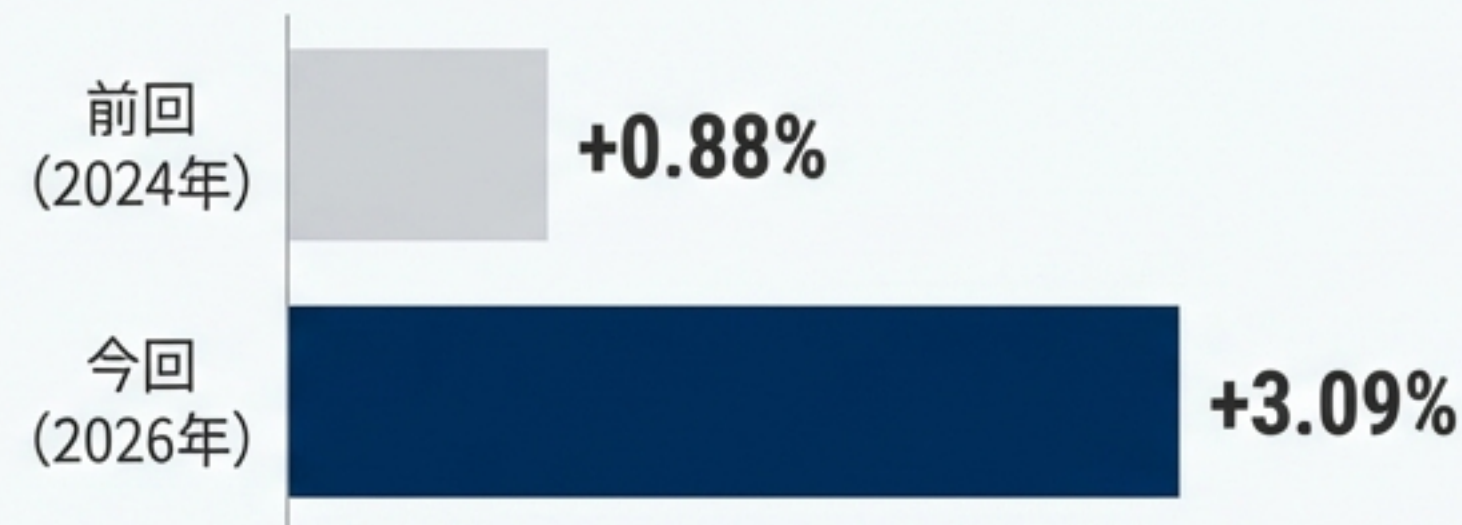
2026年6月 診療報酬改定のご案内

医療費の仕組みと、患者様のご負担について

+3.09%

30年ぶりの大幅改定。

2026年6月より、医療サービスの公定価格である「診療報酬」が引き上げられます。
これは1996年度以来の水準となる、医療体制を守るための大きな決断です。



値上げの背景にある「3つの理由」



物価高騰への対応

+0.76%



医療従事者の賃上げ

+1.70%



緊急的な経済対策

+0.44%

昨今の急激な経済情勢の変化に対応し、質の高い医療を継続するために必要な措置となります。



理由1：病院も直面する 「物価の壁」

医療機関の運営コスト（電気・ガス・食材・材料）が急騰しています。

- 基本診療料を見直し、物価上昇分（+0.62%）を補填します。
- 高度な医療機器を扱う病院（大学病院など）には、維持コストへの特例的な上乗せ（+0.14%）も行われます。

物価対応分
+0.76%

理由2：医療を支える 「人」への投資

ケアの質を守るため、職員の賃上げを実現します。

- 全産業で賃上げが進む中、医療現場の人材確保が急務です。医療者の投資者があります。
- 看護師、薬剤師、事務職員等のベースアップ（基本給の引き上げ）を目的としています。医療関係職種を、よて賃かに立てましょう。

医療関係職種：+3.2%目標
看護補助者等：+5.7%目標

+1.70%



理由3：想定を超えた「経済変化」への対応



2024年以降の「想定外の物価上昇」をカバーします。

前回改定（2024年）以降、予測を上回るペースで経済環境が変化しました。
このギャップを埋めるための緊急的な措置（**+0.44%**）が含まれています。

補正予算の効果を維持しつつ、医療機関の経営を安定化させます。



患者様のご負担がどう変わるのか

押さえておきたい「4つの変更点」

変更点1：入院時の食事代

+40円 1食あたり

食材費の高騰に伴い、標準負担額が引き上げられます。

改定前: 510円 → 改定後: 550円

※住民税非課税世帯の方は、所得区分に応じて+20円～30円の上昇に留められます。

変更点2：入院時の光熱水費の負担導入



60円 1日あたり

これまで病院が負担していた光熱費の一部について、
新たなご負担をお願いすることになります。
電気・ガス料金の高騰を受けた措置です。

※指定難病の患者様などは、負担増の対象外（据え置き）となります。

変更点3：先発医薬品をご希望される場合

ジェネリック（後発薬）があるお薬で、あえて先発品を選ばれる場合、差額の自己負担割合が増加します。

これまで

差額の $1/4$

これから

差額の $1/2$

※供給不足や医療上の理由がある場合は対象外です。

変更点4：市販薬と共通する成分の処方



市販薬で代用可能なお薬（OTC類似薬）について、
新たな負担の導入が予定されています。

- 対象例：湿布薬、保湿剤、ビタミン剤など（約1,100品目）
- 薬代の約1/4程度が自己負担（選定療養費）となる見込みです。

2027年3月までに実施予定

改定のスケジュール

2026年4月

2026年6月

2027年3月

薬価改定

(薬の公定価格見直し)

診療報酬改定

(診察・入院費、食事代等の変更)

市販薬類似薬

(新ルールを導入予定)

今すぐできる準備 ①

ジェネリックへの切り替え



先発薬を使用中的の方は、
先発薬を使用中的の方は、
医師・薬剤師にご相談く
ださい。負担増を回避で
きます。

お薬手帳の整理



複数の病院にかかって
いる場合、重複処方を防
ぐことで無駄な出費を抑
えられます。

今すぐできる準備②



「マイナ保険証」の活用

- ✓ 入院などで医療費が高額になる際、事前の「限度額認定証」申請が不要になります。
- ✓ 窓口での支払いを自己負担限度額まで抑えられます。
- ✓ 手続きがスムーズになり、急な入院でも安心です。



安心して医療を受けていただくために

ご不明な点がございましたら、お近くの病院窓口や
かかりつけ薬局まで、お気軽にご相談ください。